



越美北線ラッピング列車運行記念式典
(7月21日開催)

おおの 議会だより

No.202 平成30年8月25日



福井しあわせ元気国体2018
福井しあわせ元気大会2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう カと技と美しさ

▼
主
な
内
容
▲
▲
▲

7月定例会の概要	2ページ
一般質問の概要	3~7ページ
議案等の各議員表決	8ページ
常任委員会審査Q & A	9・10ページ
特別委員会報告	10・11ページ
委員会視察レポート	11・12ページ

大野市議会では、ホームページでも議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報を掲載しています。ぜひ閲覧してください。



発行：大野市議会
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>
編集：議会だより編集委員会

7月定例会の概要

第408回定例会市議会は、7月17日から8月1日までの16日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、平成30年度の一般会計補正予算案、条例の制定・改正、工事請負契約の締結、人事案件など、全14議案のほか、陳情2件、議員提出の市会案1件について審議しました。

審議結果は、8ページのとおりで。

一般会計予算
3億2414万円を
追加

平成30年度一般会計当初予算に3億2414万円が追加され、予算の累計額が181億9502万円になりました。前年度同期と比較すると3.6割の増です。主な補正の内容は、下表のとおりです。

特別会計補正予算

和泉診療所事業特別会計では、雪害による和泉診療所の屋根の修繕料の増額を、水道事業会計では、配水管更新工事に係る固定資産除却費の増額、また上水道施設改良事業の増額、上水道拡張事業の減額などが主な内容です。

補正のあった主な内容	補正額
★ 地域おこし協力隊の新規採用に係る経費（有害鳥獣対策業務：2人）	521万円
★ 和泉地域ふれあい交流センター（仮称）の実施設計を行う経費 和泉地域福祉センターの解体工事などを行う経費	7371万円
★ 宮農組織等3団体が行う農業機械の導入に対して補助する経費	2601万円
★ 天空の城展望台への遊歩道を整備する経費	160万円
★ 除雪等による路面悪化部分の補修を行う経費	1500万円
★ 大学等の研究機関と共同で地下水に関する調査研究を行う経費 水に関する活動拠点施設を整備する経費	7980万円
★ 市営住宅の中津川3団地の敷地（借地）について、原状回復工事を行う経費	2700万円
★ 本願清水イトコの里の空調設備の更新を行う経費	1080万円
★ 災害復旧工事を施工している林道ミノ又線で崩落が発生したため、追加調査・測量設計を行う経費	586万円

その他の主な議案

大野市手話言語条例の制定

手話への理解の促進と手話の普及を図り、手話を使いやすい環境の整備を推進するため、市が取り組むべき施策など、必要な事項について定められました。

大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件が改正されました。

大野市消防緊急通信指令システム整備工事請負契約の締結

消防防災施設整備費補助金要綱に定められた「高機能消防指令センター統合整備事業」の仕様を基本とした消防緊急通信指令システム一式を整備する工事請負契約を認めました。

人事案件

教育委員会教育長の任命

新たに久保俊岳氏（阿難祖領家）を任命することに同意しました。

意見書

次の意見書を政府関係機関へ提出しました。
・地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める意見書

市議会を傍聴しましょう

本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（R階）にお入りください。
次回、9月定例会の予定は次のとおりです。

日程（案）	区分	審議等の内容
9月3日 月	本会議	議案上程、提案理由説明
10日 月	本会議	一般質問
11日 火	本会議	一般質問、決算特別委員会の設置及び委員の選任 請願・陳情上程
12日 水	委員会	10:00 産経建設常任委員会
13日 木	委員会	10:00 民生環境常任委員会
14日 金	委員会	10:00 総務文教常任委員会
18日 火	委員会	10:00 中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進特別委員会 13:00 人口減少・若者定住対策特別委員会
20日 木	本会議	各委員長報告 質疑、討論、採決

※予定のため変更になる場合があります。
※本会議の開会は、いずれも午前10時を予定していますが、開会前の会議により遅れる場合もあります。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。
(☎0779-64-4830)

女性を対象とした 身近な座布団集会を望む



ぜひともお話しを聞かせていただく場を設ける

年度	経常収支比率
平成25年度	91.5%
平成26年度	95.8%
平成27年度	95.9%
平成28年度	98.8%

経常収支比率
数値が小さい方が財政に余裕がある。
100になると完全な財政の硬直

問 多数の男性の中では、女性は発言しづらい。また女性には、身体の悩み、子育ての悩みなど、女性特有のものがある。女性対象の座布団集会のような機会を設けていただきたい。

答 喜んでお受けしたい。形としてはこれから考えていくが、ぜひともお話しを聞かせていただく場を設けたい。

問 市の財政構造が硬直し続ける理由は、交付税の減少、扶助費の増加等が要因。

答 経常収支比率が近年増加。この数値から近年

天空おのおの

梅林

厚子 議員



非常に箱物が多いと推測されるが。

答 公共施設再編計画等において見直しを図っている。維持管理費がこれまで以上に上昇しないように努める。

問 ニセコ町では、どこに、どのような物を幾らで購入するか等、使われるお金の詳細を「もっと知りたいことしの仕事」と題した冊子を全戸配布している。市民に、より分かりやすい財政の情報公開が必要だと思うが。

答 北海道ニセコ町や他の先進事例を参考に、市民の皆さまへの分かりやすい情報開示に努める。

小中学校再編計画を見直すと表明したのはなぜか



再編は必要だが、策定までは急ぎ過ぎたと感じ
地域の意見をじっくり聞く必要がある

無党派

松田

元栄 議員

問 再編計画の見直しや、260件を超えるパブリックコメントでの質問と回答を読まれた市長の率直な考えは。

答 学校再編は必要だが、策定までは急ぎ過ぎたのではないかなど、地域の意見をじっくり聞く必要があったと感じている。また再編への関心の高さや、さまざまな意見があり、慎重に取り扱うべき課題として、地域の方々の意見をあらためて聞くことから始めるよう、教育委員会に伝えたい。

問 今まで、地域から学校がなくなると、地域が持続できなくなる可能性についての議論は全くなかったが。

答 学校再編と地域の活性化というものがリンクしているものではない。

問 埋蔵文化財包蔵地内の成山城跡と牛ヶ原城跡で、埋蔵文化財発掘届出書が提出されずに作業道

路が造られ、文化財保護法に抵触したが、どのような対策が取られたのか。

答 両城跡において、申請範囲を超えて開発行為が行われた。土木関係85事業者に対して、埋蔵文化財の保護の取り組みについて、注意喚起の文書を発送した。

問 27力所の山城と前方後円墳など、歴史、文化、伝統を総合的に結び付け、ストーリーが作れるように、歴史文化基本構想を策定してはどうか。

答 越前大野城と歴史的路上つながりのある山城群は、本市の魅力の発信材料として大変有益であり、大野の宝である。宝を必要と見せていくことが必要と考える。これらの宝を保存し、活用していくために歴史文化基本構想の策定が重要課題であり、情報収集と調査研究を進め、策定に向けて積極的に取り組んでいく。

一般質問

水に関する拠点施設整備計画に係る 議会説明は



今後は議会と情報を共有するため、
チェックリストを作成し、ルール化する

誠和会・公明党

藤堂 とうどう

勝義 かつよし 議員

一般質問

問 水に関する拠点施設整備計画の経緯と活用方法は。

答 水に関する取り組みの先進地として多くの研究者や学生が研究のために本市を訪れ、交流し、関係人口を増やしていくため、拠点施設が必要と考えている。

併せて、一般財団法人水への恩返し財団も、水田たん水や森づくり事業、出前事業などの水への恩返し事業、東ティモールへの支援等も実施し、事業拡大を図る上でも事務所が必要と考えている。活用方法は、若手研究者や学生の滞在型の研究の場、市民との交流の場、水を活用した商品開発の場等、水に関わる多方面での活用方法を想定している。また、一般財団法人水への恩返し財団の事務所を置くことで運営管理を行う。

問 拠点施設整備計画の

議会説明は。

答 市長選があり、議会に対して具体的な説明はできなかった。説明が遅れたことについて深くおわびしたい。

今後は議会と情報を共有するため、チェックリストを作成して、ルール化することで理解願いたい。

問 拠点施設の前算がなぜ補正前算なのか。

答 本施設整備に関する予算は、新規の事業として国に要望してきたが、国の社会資本整備総合交付金の内示が未確定であったため、当初予算に計上することができなかった。3月30日に国から内示があり、財源にめぐり立ったため、本議会において補正予算に計上した。

今後は、工程表を作成する中で議会に対し、適宜適切に説明しながら説明責任を果たしていきたい。

新しい風を吹かせるとは、 どのような風か

市民の皆さまが望むもの、
私に期待されるものだと思う



天空おおの

高岡 たかおか

和行 かずゆき 議員

問 市長の政治姿勢について、「新しい風を吹かせる」とは、どのような風か。

答 「新しい風」とは、市民の皆さまが望むもの、私に期待されるものだと思う。

問 行政改革についての心意気はどうか。

答 職員一人一人の意識改革や質の向上がより重要。現在、地方創生・人口減少対策など、喫緊の行政課題が山積しているが、本市の財政構造は硬直化し、既存の事業をそのまま漫然と進めることはできないと考える。

問 財政改革に関する考え方について尋ねる。

答 自主財源は乏しく財政構造は厳しい状況にある。財政の健全性を確保していくには、これまで以上に、職員一人一人がコスト意識を持ち、助成制度をはじめとする各種事業や業務内容について、

きめ細やかにチェックし、変化する時代に合わせ見直していく必要があると考えている。

問 市の借金は190億円を超え、短期ころがし、流動負債を入れると200億円を超えると思うが、どうか。

答 市債の残高は、28年度末で240億円となっている。

問 市債は、どうして改善されないのか。

答 一般会計は微減だが、下水道事業で増えている。

問 市の一般職・嘱託・臨時職員は計620人ほどで、近年の人件費の右肩上がり、施設の維持管理費の右肩上がりをどう思うか。

答 いろいろな要因が重なり増えてきている。

問 持続可能なまちづくりを市民目線でやっていくことが大事だと思うが、

答 情報の共有に努めていきたい。

中縦県内全線開通のチャンスを生かした 地元産業の振興は

市民と情報を共有しながら、 地域経済の発展につなげたい



新生おおの

かわばた
川端

よしひで
義秀 議員

問 中部縦貫自動車道の県内全線開通というチャンスを生かした地元産業の振興についての考えを聞きたい。

答 中部縦貫自動車道など高速道路網の整備は、広域のネットワークが形成されることによる観光客の増加をはじめ、コメなどの農林産物や加工品の販路開拓、太平洋側に立地する企業のリスク分散のための進出など、本市の産業振興に大きく寄与することが期待され、このチャンスを生かすことが最も重要であると考えている。

問 本市の第1次基幹産業である農業について、どのような考えを持っているのか。

答 基幹産業、基盤となる産業であるという実感を持って拝見してきた。農作物を作るといふ産業の場であるだけでなく、市の景観を作っている。あるいは、地下水を作っている。そしてこの大野を特徴づける多面的な機能を発揮しているという、そうした意味合いにおいて農業を持続可能な形で運営していけるように、そんな思いを持っている。

道の駅（仮称）結の故郷」や中部縦貫自動車道を生かすに当たっても、地域経済の活性化という点で非常に期待ができ、農業の産業の面としての強化が図られるよう、力を注ぎたい。

電通、CWP、学校再編、文化会館整備の 今後は

方向性の検討、見直しを進める



天空おおの

かねい
兼井

まさる
大 議員



大野ポスター展ポスター総選挙

問 株式会社電通との相互連携協定の今後は。

答 今後は本市で自走できるよう努力していく。

問 キャリングウオータープロジェクト、東ティモールへの支援の今後は。

答 建設した給水施設などの管理の技術支援や子どもたちの交流、産業分野での新たな人的交流など、ソフト面での支援を検討する。他の国への拡大は考えていない。

問 大野へかえろうプロジェクトの今後は。

答 4年目を迎え、これまでの事業成果等を検証し、新たな展開も含め今

後の方向性を検討する。

問 小中学校再編について、校数や再編時期、方法など再編計画の見直しをどのように進めるのか。

答 校数や再編時期、方法などについて見直すことが必要。まずは地域の方々の意見をあらためてお聞きすることから始めるよう教育委員会に指示したい。今後のスケジュールは、市長と教育委員が構成メンバーになる総合教育会議で協議、調整を行う。

問 文化会館整備について、千席程度の客席の必要性や駅東公園を含め、より多くの市民に利用していただけるような見直しは。

答 基本理念を念頭に、財政面を考慮しながら、座席数を含めた施設規模の見直しや維持管理、運営方法の検討を進め、文化芸術振興の拠点を目指していく。

チャンスを生かすために、富田地区に新設される産業団地の在り方について



清風会

ひろた

廣田 憲徳 議員

子育て中の女性も積極的に採用している コールセンター系の誘致も視野に入れる

問 チャンスを生かすために、富田地区に新設される産業団地の在り方について。

答 地元企業の事業拡張に伴う工場移転や、IT関連企業の中でも事務系のウェブマーケティングやウェブライティング、編集あるいは子育て中の女性を中心に積極的に採用しているコールセンター系の誘致なども視野に入れ、市一丸となって誘致活動を行っている。今後はさらに民間の若手事業者との意見交換会を開催するなど、民間の協力も得ながら誘致活動を進めていきたい。

問 イキイキと暮らす子育て環境の具体的な整備について。

答 子どもたちがイキイキと暮らすためには、子どもたちの興味や関心に応じて、活発な活動ができる教育環境の充実が求められる。多くの児童がスポーツ少年団に所属するが、中学校に進むと、希望する競技の部活動がなく、やむを得ず異なる競技に変更したり、希望する競技の部活動がある市外の中学校へ進学したりする生徒もいる。近年では、開成や陽明中学校でさえ、単独で大会に出場することが困難な部がある。このような現状を見ても、子どもたちのよい良い教育環境の充実のために、学校の再編は必要であると考える。

今後、教育委員会では地域の方々の意見を十分に聞きながら、子どもたちの興味や関心に応えることができるような環境づくりに努めていく。

※ウェブライティング
記事が検索された際に、できるだけ読んでもらえるよう検索ページで上位をとるような工夫を加えた文章を書く技術

一般質問

選挙戦を通じて自治体における市長の役割をどのように感じたか



日本共産党大野市議団

さかえ

まさお 正夫 議員

未来へつなぐまちづくりを実現することが 私の市長としての役割である

問 石山新市長に対する私の初めての質問だが、7月22日に閉幕した通常国会は虚偽等で固めたもので、異常な国政の下で、石山市政が誕生した。それだけに市政運営は、至難が待ち受けていると思う。激戦を制して市長としての役割は何かを感じたとすれば、聞かせていただきたい。

答 市長とは、地方自治法で、当該普通地方公共団体の事務を管理し及びこれを執行するとあり、予算の編成権・提案権・執行権を有し、地方税の賦課徴収など、担当する事務が明記されている。

市長とは、その市を代表し、市民に向かうべき方向を示していく市政のかじ取り役であると認識している。今回の選挙を通じて、多くの市民の皆さまと会い「一緒に挑戦する仲間になって」と訴えた。行政が市政を担うのはもちろんだが、持続可能な地域づくりを目指して、知恵や力を市民と出し合うことで、より良いまちづくりが進み、夢を実現する大野を取り戻せるものと考えている。若さ、女性目線、外部の視点等に、新しい期待を寄せていただいたものと捉えている。市民の皆さまへの分かりやすい説明や情報共有に取り組み、仲間を増やしながらか、未来へつなぐまちづくりを実現することが、市長としての果たす役割であると考えている。

問 市長の情報共有に取り組む姿勢で、ぜひ市民主権者の、権利性を念頭に置いてほしい。

答 生存権保障という大きなテーマも、市民の生命と財産を守るという意味合いが合うのであれば、合致してくると思う。

市の財政調整基金の推移は

平成25年度がピークで
29年度末までに7億9000万円減少



無党派

堀田

昭一

議員

問 市の財政調整基金の推移と現在の残高は。また総務省指針の目安額は。

答 平成25年度がピークで約25億2000万円、その後は減少傾向にあり、29年度末残高は約17億3000万円となり、7億9000万円減少。市の29年度末残高は標準財政規模の17割であり、一般的に適正規模は10割程度といわれる水準を上回っている。今回の大雪のような臨時的な財源不足に備えるため、今後とも10割の水準を確保していきたい。

問 避難所や公共施設などのブロック塀の調査状況とその対応は。

答 全28カ所のうち、8カ所で控え壁がなく、3カ所で高さの超過、2カ所でひび割れなどが確認され、緊急性が高い箇所から順次、対応する予定である。

問 民間の、ブロック塀除去補助事業の利用状況と緊急性の高い道路への今後の対応は。

答 道路に面した倒壊の危険性が高いブロック塀などを除去する場合は、その費用の2分の1または5万円を上限にして補助金を交付している。平成29年度は1件の利用があった。本年の大阪北部地震を受け、通学路に関して、補助の上限の見直しを行った事例もあり、そのような事例を参考に研究し、今後どうするかを検討する。

問 通学路を中心とした防犯カメラの設置や公用車へのドライブレコーダー設置の考えは。

答 防犯カメラの設置は困難であるが、ドライブレコーダーについては、公用車への設置を考えていく。

小中学校再編計画はどうなるのか

校数、再編時期、方法などを検討し、
見直しが必要



日本共産党大野市議団

野村

勝人

議員

問 小中学校再編計画は、強引な進め方をせず、保護者や住民の納得の上で進められることを願って質問する。

答 今後の進め方については、市と教育委員会では、構成する総合教育会議で、協議、調整を行っていく。これまでも教育委員会からの指示の下、事務局は動いてきた。今後その方法に変わりはなく、今回、特別に気を付けたり、心しているということは、ない。

問 学校における学校徴収金の保護者負担を軽減するために質問する。

各小中学校で使われているテストやドリルが非常に多く、共通して使わ

れていて、どうしても買わなければならぬ教材は、公費で賄うべきである。

また、市内で、同学年でありながら、学校によって、少ない学校の3倍の金額を徴収している。徴収金額に上限を決めて、保護者への負担を軽減するよう指導するべきではないか。

答 最低限必要なものは公費で負担している。それ以外は保護者に負担していただきたい。特別に高い教材を使用していることはなく、それぞれの学校で判断しているので、上限を設けることは適当でないと考える。



一般質問

平成30年7月第408回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	堀田	野村	廣田	山崎	松田	永田	梅林	川端	宮澤	藤堂	松原	高岡	島口	兼井	畑中	砂子	榮
				昭一	勝人	憲徳	利昭	元栄	正幸	厚子	義秀	秀樹	勝義	啓治	和行	敏榮	大	章男	三郎	正夫
市 長 提 出 議 案	52	平成30年度大野市一般会計補正予算（第2号）案	可決	○	×	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	53	平成30年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	54	平成30年度大野市水道事業会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	55	大野市手話言語条例案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	56	大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	57	大野市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	58	大野市過疎地域自立促進計画の変更について	可決	○	×	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	59	阿難祖辺地に係る総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	60	大野市消防緊急通信指令システム整備工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	61	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度大野市一般会計補正予算（第8号））	承認	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
62	専決処分の承認を求めることについて（大野市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
63	専決処分の承認を求めることについて（大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
64	教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
65	固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
市 会 案	1	地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める意見書案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
陳 情	1	地方消費者行政推進交付金に関する陳情書	採択	賛	賛	賛	/	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠
	2	名水百選「御清水」を守ろうに関する陳情	継続審査	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

議長（山崎利昭氏）は採決に加わらないので「/」で表示。欠席は「欠」と表示
 議案に賛成○、反対×。継続審査に賛成○、反対×
 陳情の願意に賛成「賛」

● 請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時まで提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ① 請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ② 提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。

☎0779-64-4830

● 委員会も傍聴できます！

常任及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。

傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局まで申し出ください。

なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。

申し出書は自署された場合、押印は不要です。

常任委員会審査

Q & A

▽産経建設

(永田委員長 堀田副委員長
藤堂 松原、畑中)

健全な水循環のまち調査 研究事業について

Q 水に関する拠点施設

を新たに整備し、研究者や学生の研究拠点や意見交換の場として、また市民に対する研究成果を発表する場として、そして市民が共同して水に関する商品開発を行う場として活用していくとのことだが、大学の研究を支援することは、市民とはかけ離れたものであり、市民のためにならないのではないか。

A 昨年は、大学など研究機関の関係者約400人が、地下水の研究を通じて本市を訪れた。地下水の技術的な研究が進んでおり、今後、地下水を有効に活用することによる市民への貢献が可能になる。

◎委員からの主な意見

既存施設の利用も検討したとのことであるが、新たな施設の整備については、管理運営経費を念頭に置き、将来の既存施設の集約化も視野に入れて考えるべきである。

大野市化石発掘体験センター・ホロッサについて

Q 今年度のホロッサの利用者を、1万2000人と見込み、7月23日現在では、2258人に利用

用いただけいたとのことであるが、今年度の残りの期間を考えれば、見込んでいる利用者数への到達は難しいのではないかと近隣の化石発掘体験施設の利用者数と利用料金を調査、分析しながら、ホロッサの利用者が増加する取り組みを検討するべきではないか。

A 夏休み特別企画を催すとともに、学校などに対して、また団体の会場などでPRを積極的に

◎委員からの主な意見

目標達成に向けた、さらなる取り組みの強化に努めていただきたい。



▽民生環境

(高岡委員長、松田副委員長
廣田、川端、砂子、榮)

越前おおのステップアップ事業について

Q 今年度の事業内容は、

A 本市から友好交流市の岩倉市に出向き、独身の男女の交流イベントを計画している。また、市内の若者を対象に結婚や婚活支援に関するアンケートを実施する。

◎委員からの主な意見

イベント参加者から、婚活支援に関する率直な意見や要望を聞き、その内容が実現するような企画を検討されたい。

大野市手話言語条例について

Q 市が取り組むべき施策は。

A 手話の普及啓発、学習機会の確保、手話通訳者等の派遣による意思疎通の支援などである。

Q 具体的な取り組み状況は。

A 福井しあわせ元気大会 聴覚障がい者のバレーボール大会が10月に本市で開催されることを契機と捉え、小中学生等に手話講座を開催する。

◎委員からの主な意見

この条例が真に実効性のあるものにされたい。



地方消費者行政推進交付金に関する陳情書について

Q この陳情に対する考え方は。

A 当交付金の平成30年度の国の予算額は24億円と大幅に減額され、本市も一般財源の負担が増している。

地方消費者行政の更なる充実・強化に取り組むため、国による財政支援の拡充が必要である。

◎委員からの意見等

本年度予算で確保できなかった額は補正予算で対応することなどを求める意見書を国に提出するよう求める本陳情について願意を了とし、全会一致で採択とした。

名水百選「御清水」を守る上に関する陳情

Q この陳情に対する考え方は。

A 公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全という目的達成のため公共下水道整備は不可欠である。地下水に影響を及ぼすことのないよう進めたい。

◎委員からの意見等

整備対象地区のうち、本陳情の賛同地区以外地区住民の思いが分からない。引き続き調査の必要があるとし、全会一致で継続審査とした。

▽総務文教

(梅林委員長 兼井副委員長
野村、山崎、宮澤、島口)

DAINOUSPORTSの管理経費について

Q 同施設の修繕費の内容は。

A 今冬に、屋根からの落雪で屋外階段室のサッシ窓が、外側から中に押し破損したことや、トイレの給水管凍結により生じた漏水による天井の破損の修繕などに係る経費である。

Q 積雪量の多い寒冷な地域では、そのような破損は、当然予想されることではないのか。

A 修繕をするときは、最善の方法を考え、今後同じようなことが起きないようにしたい。

◎委員からの主な意見

同施設の県全体への貢献度を鑑みて、市費だけで施設維持管理を行うのではなく、その支援について、引き続き県に対して要望を行っていただきたい。



中学生みこしダンスパフォーマンスについて

Q 同イベントが行われるようになってから、何年もたつが、アンケートを実施したりして、見直すことはしないのか。
A 参加した子どもからは「みこしを担ぐのは大変だったが、参加してよかった」などの声も聞いている。

暑さ対策のために、実施する時間を午前中の早い時間帯に変更したり、会場へ散水したりするなどの改善を行ってきている。

◎委員からの主な意見

参加する子どもたちの健康が損なわれることのないよう、また家族の負担等についても十分配慮し、改善の余地があるものは改善していただきたい。

小中学校における

緊急時の連絡体制について

◎委員からの主な意見
先の7月豪雨で、一部の小学校では、休業の措置が取られ、その措置のメール連絡は行われたが、保護者によるメール確認がされず、児童が集団登校の集合場所に行き、初めて休業が分かった事例があった。
緊急時の連絡は、児童・生徒の安全確保などのために行われるものであるので、緊急時の連絡方法の周知について、いま一度、徹底されたい。

特別委員会 報告

▼中部縦貫自動車道等

幹線道路整備促進

(島口委員長、藤室副委員長
永田、川端、高岡、兼井、
畑中、榮)

中部縦貫自動車道

大野・大野東区間では、本格的に用地取得を進めているとのこと。

大野東・和泉区間では、計画するトンネル4本のうち、延長約5キロメートルの(仮称)荒島第二トンネルをはじめ、3本の工事に着手したとのこと。

和泉・油坂区間では、川合・下半原間で用地取得が完了し、残る上半原・東市布間においても、用地取得に向けた取り組みを進めているとのこと。

工事については、計画するトンネル6本のうち新長野トンネルの工事に着手したとのこと。

◎委員からの主な意見

北陸新幹線の建設費が

資材等の高騰により膨らむとの報道があった。中縦についてはそのような情報は入っていないとのことだが、的確で早い情報収集に万全を期していただきたい。



大野市重点道の駅

「(仮称)結の故郷」

工事資材等の高騰により、地域振興セクションと地方創生セクションの建物面積の縮小について指定管理予定者と協議中とのこと。

また「直売所」「回遊性」「情報発信」等のソフト事業について庁内の担当課を主担当としてプロジェクトを進めるとともに、その進捗(しんちよく)管理を行う道の駅庁内推進会議を設置し、庁内の

推進体制の強化を図っていきたいとのこと。
直売所施設については、「(仮称)産直の会」の発足に向け、設立準備委員会が農業者向け説明会を開催したとのこと。

また、複数の観光体験ルートを設定するとともに、各ルートでの体験観光等を充実させ、その情報発信により、回遊性を高めたいとのこと。

◎委員からの主な意見

建物面積が縮小すること、来場者数や売り上げへの影響が懸念される。指定管理料の減額も考えられるのではないかと。

その道の駅でしか味わえない魅力を感じていただけよう、お客さま目線で考えることが大切である。

来訪者が、道の駅のみの利用とならないよう、まると道の駅ビジョンを実現するための重要なテーマである回遊性について、十分に検討されたい。

▼人口減少・若者定住対策

(堀田委員長、宮澤副委員長
野村廣田松田梅林、松原)

大野市総合戦略の四つの柱のうち、2番目の柱である「新しいひとの流れをつくる」に関連する事業について説明を受けた。

◎各委員からの主な意見

地域おこし協力隊員などの誘致では、昨年度において4人の隊員が、天空の城越前大野城のPRの業務などに従事した。

このうち、協力活動を終了した隊員1人が、家の事情で帰郷し、現在、活動中の隊員3人は、できれば今後も、本市に残りたいとの希望を持っているとのこと。

他自治体では、隊員の多くが、活動終了後に定住しているという事例がある。

本市でも、定住人口拡大に向けて、就業の準備として、隊員活動中の副業を認めたり、活動終了後の起業への支援など、隊員が本市で就業できる環境づくりを検討いただきたい。

・越前おおの暮らし体験プログラムの実施では、

体験プログラムの新たな取り組みとして、昨年度は、移住者の受け入れが可能な集落と協力して、移住を希望される方に地区の祭りや集落交流会に参加していただくとともに、集落内の空き家での宿泊を体験していただいたとのこと。

地域と連携した取り組みは、長期の移住や定住につながると思われ、今後、ぜひ拡充していただきたい。



農林樂舎で活動する協力隊員

・定住のための住宅取得やリフォームに対する助成では、移住や定住を希望される方が、住宅を新築したり、中古住宅をリフォームする場合に、係る費用について、用途地域内の場合と、それ以外の地域の場合に分け、そ

れぞれ限度額を設けて助成しているとのこと。

人口減少はまちなかだけの問題ではなく、過疎に直面し、共同体としての存続が危惧される集落にとつては、非常に深刻な問題となっているので、その解決に向けての有効な施策についても検討いただきたい。

委員会 視察レポート

▼民生環境常任委員会

5月16日～18日に実施しました。

岡山県倉敷市では、子ども条例について研修しました。

地域社会全体で子育て・子育てを支えることで、全ての子どもが幸せに暮らせるまちの実現を目指し制定されたものです。その制定に当たっては、主人公である子どもの意見、高校生の意見を聞き、条例に反映させたとのことでした。

広島県呉市では、国保事業医療費適正化の取り

組みについて研修しました。

レセプトデータを活用した健康管理システムと特定健診データを突合、分析することで、受診が必要な人に受診勧奨するなど、データを効果的に活用し、医療費の適正化に取り組みでいきました。



呉市での研修

佐賀県鳥栖市では、婚活支援事業について研修しました。

民間が企画した婚活支援イベントが市に認定されると、市のホームページやフェイスブック等でイベントの情報発信ができる支援が受けられるとの説明を受けました。

佐賀県佐賀市では、福祉総合窓口システムについて研修しました。

保健福祉の相談体制の充実を図る観点から、相談対象を「個人」から「世帯」で捉えるとともに、「受付型」から「提案型」への相談に転換すること

で、攻めの福祉に取り組んでいるとのことでありました。

福祉に関する相談は、複雑で多岐にわたること、また、関係部署との連携が重要であることから、このシステムを活用した相談体制のシミュレーションを、職員研修として実施しているとの説明を受けました。

▼産経建設常任委員会

5月22日～24日に実施しました。

岡山県高梁市では、雲海に浮かぶ備中松山城を生かした各種事業の取り組みについて研修しました。

観光協会などの関係団体や観光に携わる商工・サービス事業者、市職員などで構成する協議会が観光戦略アクションプランを策定し、タクシーや路線バスを活用した二次

交通の整備、備中松山城雲海展望台の整備、たかはしフィルム・コミッションによるロケ支援など情報発信の強化、お土産や特産品の開発支援などの集客向上に係る取り組みを進めています。

岡山県井原市では、耕作放棄地を活用した事業の取り組みについて研修しました。

農業の担い手不足や高齢化により耕作放棄地が増えてきたため、国内で栽培実績がある、栽培が比較的簡単、鳥獣被害の心配が少ない、国内生産が低く将来性がある、取引価格が安定している、耕作放棄地が利用できるなどの理由から、井原市では薬用植物のシヤクヤクの栽培を進めています。現在は、自主栽培に並行して大手製薬会社と栽培受託契約を締結し、農業法人を含む8経営体がシヤクヤクの栽培を行っているとの説明を受けました。

山口県防府市では、「ほうふ幸せます働き方推進企業」について研修

しました。働きやすい職場づくりにおいて、一定の基準を満たす企業を、ほうふ幸せます働き方推進企業として認定し、支援するとともに、この取り組みを市内外に広くPRして人材の確保や定着などにつなげていく仕組みづくりについて説明を受けました。



防府市での研修

▼総務文教常任委員会

5月23日～25日に実施しました。

栃木県小山市では、消防団サポート事業と女性防火クラブの取り組みについて研修しました。

消防団サポート事業は、市内事業所が協力し、消防団員に対して、飲食料金を割引くなどサービスを提供して消防団をさまざまな形で応援するもの

です。これにより、市民の消防団に対する関心が高まり、市全体で消防団をサポートしようという意識啓発ができるとの説明を受けました。

また、家庭で火を使用する機会が多い女性の防火意識を高め、火災予防の知識や技術を習得し、家庭からの出火を防止することを目的に設置された女性防火クラブの取り組みについても説明を受けました。



小山市での研修

栃木県真岡市では、久保記念観光文化交流館の取り組みについて研修しました。

当交流館は、久保記念館、観光まちづくりセンター、観光物産館、美術品展示館などで構成されています。美術品展示館は、大正時代に建てられ

た個人の米蔵を改修したもので、施設建設の経緯や管理運営等についての説明を受けました。

埼玉県蓮田市では、はすだ男女共生プランの取り組みについて研修しました。

男女共生参画社会への取り組みの中では、公募による編集員が、企画や取材などを行い、男女共同参画社会に関するさまざまな情報や話題を中心に紹介する情報誌「ぱすてる」を定期的に発行しているなどの説明を受けました。

▼議会だより編集委員会
6月28日・29日に実施しました。

研修では、議会だよりの編集方法や紙面レイアウトの工夫点などについて、滋賀県の竜王町と甲賀市を訪れ、研修しました。

竜王町では、住民に議会だよりを読んでもらうため、最初に目にする表紙について、将来を担う子どもたちに焦点を当て、子どもの表情が分かるように、なるべくアップの写真の写真を載せたり、また無

理に文字を詰め込まずにホワイトスペースを有効に取り入れるなどといった工夫がなされています。

甲賀市では、市民にできるだけ分かりやすく、親しみのある紙面づくりを編集のポイントとしており、編集に当たっては、議会ことばではなく、市民に分かりやすいことばを用いたり、一般質問では、関連する写真やイラストを必ず1点掲載するなど、読みやすい紙面となつていきます。また、今後は、議員を身近に感じてもらうため、裏表紙に議員を紹介するコーナーを設けて、より親しみのある紙面づくりに取り組んでいくとの説明を受けました。



竜王町での研修

福井しあわせ元気国体・元気大会 大野市開催の公開競技・正式競技について

★公開競技「パワーリフティング競技」 越前おおのまちなか交流センター
開催日：9月22日(土)～23日(日) 時間：開始式 22日 午前9時～

★正式競技「自転車競技ロード・レース」

開催日：9月29日(土) 開始式 午前7時57分 発着点：結ステーション
時間：出発 成年男子 午前8時、少年男子 午前8時3分

★正式競技「相撲競技」 エキサイト広場総合体育施設

開催日：9月30日(日)～10月2日(火) 開始式 午前9時
時間：少年男子団体予選 9/30 午前9時45分～午後6時30分
少年男子団体決勝 10/1 午前9時～午後0時50分
成年男子団体予選 10/1 午後1時30分～午後7時30分
成年男子団体決勝・個人決勝 10/2 午前9時～午前11時20分

★正式競技「カヌー競技カヌーアラーム・カヌーワイルドウォーター」

開催日：10月5日(金)～8日(月) 開始式 5日 午前9時30分 九頭竜川特設カヌー会場
時間：ワイルドウォーター 10/5 午後1時～、アラーム25ゲート 10/6 午前9時50分～
アラーム15ゲート 10/7 午前9時50分～、ワイルドウォータースプリント 10/8 午前10時30分～

★全国障害者スポーツ大会「バレーボール競技聴覚障がい者の部」

開催日：10月13日(土)～14日(日) 開始式 13日 午前9時50分 エキサイト広場総合体育施設
時間：1回戦～準決勝 10/13 午前10時55分～、交流戦・3位決定戦・決勝 10/14 午前9時45分～



編集後記

朝夕の風は秋を思わせる心地よいものとなってまいりました。それにして今年も夏は暑かった。異常気象がもたらす市民生活への影響は、今後どのようになっていくのか目が離せません。

さて、新市長就任後、初の7月定例議会は、これまで以上の緊張感と責任感をもって一人一人の議員が臨んだものと思われまふ。

市民の代表である市長と議員がそれぞれの役割をしっかりと果たし、市民と共に大野市の持続可能なまちづくりを築いていくことをあらためて痛感いたしました。

市民の皆さまには、大野市議会に叱咤(しつた)激励をいただきますようお願いを申し上げます。

初秋の空から出たり
大野丸
(座長 梅林厚子)

議会だより編集委員会

委員 梅林 厚子
野村 勝人
永田 正幸
藤堂 勝義
松原 啓治

※次回は、10月下旬の発行を予定しています。